

一般質問



医療センターと市とのかわり

星野 安久 議員



どうする。これからの渋川

細谷 浩 議員

質問 病床450床、診療科目23科、総事業費152億円の渋川医療センターが4月1日開院するが、紹介状が必要とのこと。ない場合には、特定療養費2700円がかかるというが本当か。いきなり行っても診てもらえないのか。

企画部長 渋川医療センターは、北毛地域の基幹病院として整備されましたが、かかりつけ医のない方や急病の際は、紹介状等なくとも受診できます。その際、特定療養費2700円は必要です。

病院行きバスの運行を

質問 各地区から病院へ直接行くバスの計画がない。直接行けるバス路線を望むが、その考えは。

市民部長 渋川駅から病院へ向かう新路線を行う。既存路線を迂回させる方法も検討したが、影響が大きいことから大変難しい。
ドクターカーの導入を

質問 地域医療と緊急医療に力を入れる病院としてドクターカー導入の考えは。

病院事務部長 災害拠点病院とし

てヘリポートの整備とDMAT^{*}を設置しますが、ドクターカーの導入は予定していません。

市の負担と跡地利用

質問 医療センター開院後、市の経費負担は本当にないのか。総合病院跡地をパース学園に無償貸付が決まったが、20年間の継続的な運営を強く望む。使用放棄されない対策を。

企画部長 国立病院機構との協定で、指定管理料は無料です。パース学園に正当な事由がない解約は市に違約金を払うとしています。



開院した医療センター窓口

質問 国はTPP政策大綱で、攻めの農業という施策を出したが、市は国の予算を使いながらどのような施策を考えて行くのか。

農政部長 意欲ある農業者の経営発展を促進する機械・施設の導入を支援するため、「担い手確保、経営強化支援事業・産地パワーアップ事業」等の各施策について、取り組んでいきます。

住環境整備は

質問 家族の一員として飼われているペットがいる一方で、事故死や殺処分される命もあります。犬や猫の殺処分を減らすためには、不妊手術が必要だが、手術費用に補助金は出せないか。

保健福祉部長 愛護センターと連携をとりながら、市としても命の大切さを考え対応し、助成についても研究をしていきたいと思いません。

質問 9月に市民ゴルフ場が閉鎖になりますが、市民の自由広場としての活用や、手狭になっている有馬野球場の移転先としては。

総務部長 跡地については、当面の間、現状の景観を活かした軽スポーツや自由広場など大幅な造成を必要としない施設として利活用を図りたいと考えています。

また、有馬野球場の代替施設というご提案ですが、河川敷という事情があり、工作物等の設置が困難なため、練習場としての利活用を想定し検討したいと考えます。



ペットの命を大切に

※DMAT

災害急性時に活動できる機動性を持った、トレーニングを受けた医療チーム

一般質問



上信道の建設に伴う安全対策と活用

山崎 正男 議員

質問 逆川の水位の上昇と、地域の安全対策は。

建設部長 逆川の水位は、現状とほとんど変わらないと確認しております。上信自動車道建設後の流量計算により安全に施工します。

質問 川島の久保田川の雨水時に川の水位はどのくらいまで上がる計算か。水田に入らないか。

建設部長 久保田川の水位は、現状とほとんど変化がないと確認しております。越流する恐れがある場合状況を確認し検討します。

通学路の安全対策はどうか

質問 通学路上の上信自動車道の橋脚工事が始まると、通学路としての利用が完全にできない。工事期間中や豪雪時の通学バスの通学対応を。

学校教育部長 通学バスは工事等に対応するものではありませんが、他に安全を確保する方法がない場合は、対応を検討します。

関連施設の影響見直しについて

質問 国道の通行量が減り、利用客が減り、大幅な売上げ減が見込

まれる道の駅おのこに農産物を出している生産者への対応と対策は。

農政部長 電気自動車の急速充電設備の設置や、農産物直売所の増設・改修等の工事に着手してまいります。これにより、利便性の向上を図り、来客者の確保に努めます。

質問 (仮称)川島道の駅建設の計画の進捗状況は。

建設部長 上信自動車道は、土地収用法による権利取得の手続きを行っております。道の駅への進入路は対象外であるため、任意買収に応じてもらえるよう努力します。



上信自動車道建設現場



自治会長任期について

今井 五郎 議員

質問 市の北橘地区自治会長任期を2年制に向けて指導すべきだが。

市民部長 地区の取り組みや、経過もありますので、急な変更は難しいとは思いますが、自治会の役員会などを通じて、協議してもらえよう要請していきたい。

質問 2年制に改正した単位自治会に奨励金交付案を提案する。

市民部長 奨励金制度は、既に実施している自治会に対して不公平感を感じさせます。経済的負担が増えるものでもないと思われることから、その考えはありません。

質問 平成26年度の耕作放棄地対策事業の概要は。

農政部長 農地パトロール・戸別訪問等により、農用地利用集積促進事業に取り組みました。また、荒廃農地は、土地改良事業に取り組んでいます。

質問 小規模農業従事者へ現在考えている市の指導方法は。

農政部長 小規模農家等は、事業展開が自力では取り組めないことから、農畜産物の価格安定のため

の基金造成に支援していきます。

質問 農業委員・推進員の放棄地再生利用事業への参画の有無は。

農政部長 農地利用最適化推進委員は、担当地区において農地等の利用の最適化の推進活動を行いますので、事業に参画していただくと考えています。

質問 農業型企業参入の農村整備を今後の最重要課題とすべきだが。

農政部長 建設業をはじめ、雇用確保の受け皿としての農業が脚光を浴びていることから、農業振興の重点施策として推進します。



増える耕作放棄地